

内令

五七六

監」ヲ「南西方面海軍民政政府總監」ニ改ム

(内令提要卷一、三〇ノ八一頁参照)

内令第六百五號

南西方面艦隊民政部事務分掌規程中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

題名ヲ左ノ如ク改ム

南西方面海軍民政部事務分掌規程

第五條及第六條中「南西方面艦隊民政政府總監」ヲ「南西方面海軍民政政府總監」ニ改ム

(内令提要卷一、三〇ノ八五頁参照)

内令第六百六號

昭和十七年内令第九百六十六號中左ノ通改正ス

内令  
提  
要  
登  
載

内令  
提  
要  
登  
載

0609

内令提  
要登載

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「南西方面艦隊民政部」ヲ「南西方面海軍民政部」ニ、「南西方面艦隊民政部總監」ヲ「南西方面海軍政府總監」ニ改ム

參照 昭和十七年内令第九百六十六號ハ南西方面艦隊民政部ノ支部ヲ置ク等ノ件ナリ（内令提要卷一、三〇ノ八七頁）

内令第六百七號

ニューギニア民政府令中左ノ通改正セラル

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條中「南西方面艦隊」ヲ「第二南遣艦隊」ニ改ム

第五條、第六條第二項、第七條及第八條中「南西方面艦隊司令長官」ヲ「第二南遣艦隊司令長官」ニ改ム

（昭和十七年内令第九百九十三號參照）

内令

五七七

0610

内令

五七八

内令提  
要登載

内令第六百八號

ニユーギニア民政府事務分掌規程中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五條第二項中「南西方面艦隊司令長官」ヲ「第二南遣艦隊司令長官」ニ改ム

(昭和十七年内令第九百一號參照)

内令提  
要登載

内令第六百九號

西ニユーギニア民政部令中左ノ通改正セラル

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六條中「南西方面艦隊司令長官」ヲ「第二南遣艦隊司令長官」ニ改ム

(昭和十七年内令第九百九十四號參照)

0611

内令  
第六十號

内令第六十號

マカツナル研究所令中左ノ通改正セラル

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條中「南西方面艦隊民政府」ヲ「南西方面海軍民政府」ニ改ム

第二條第二項、第三條、第四條、第六條、第八條及第十二條中「南西方面艦隊民政府總監」ヲ「南

西方面海軍民政府總監」ニ改ム

別表備考第五號中「南西方面艦隊民政府」又ハ「南西方面海軍民政府」又ハ「南

西方面海軍民政部」ニ改ム

(昭和十八年内令第二百八十七號參照)

内令  
第六十一號

内令第六十一號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

五七九

0612

警備府定員表馬公ノ欄中「馬公」ヲ「高雄」ニ、幕僚ノ部機關長機關大中佐ノ項同欄中「兼務一」ヲ「一」ニ、士官ノ項同欄中「十一人」ヲ「十一人」ニ改ム  
内兼務五人  
 海軍港務部定員表其ノ三中「大湊」ノ下ニ、「高雄」ヲ加ヘ馬公ノ欄ヲ削ル  
内兼務四人  
 海軍軍需部定員表其ノ三中「馬公」ヲ「高雄」ニ改ム  
 海軍病院定員表其ノ一ノ三中「第二十三表ノ三」ヲ「第二十三表ノ二ノ二」ニ改ム  
 海軍病院定員表其ノ四中馬公ノ欄ヲ削リ「旅順」ヲ「高雄、旅順」ニ改ム  
 海軍經理部定員表其ノ三中「馬公」ヲ「高雄」ニ改ム  
 海軍建築部定員表其ノ三中「馬公」ヲ「高雄」ニ改ム  
 「海軍警備隊定員表」ヲ「海軍警備隊定員表 其ノ一」ニ改ム  
 海軍警備隊定員表其ノ二ヲ別表ノ如ク定ム

馬公	防備隊	一	ヲ削ル
----	-----	---	-----

防備隊定員表其ノ二中馬公ノ欄及「馬公」ヲ「高雄」ニ改ム  
 海軍通信隊定員表其ノ二中馬公ノ欄ヲ削ル  
 軍法會議定員表其ノ一中「馬公」ヲ「高雄」ニ改ム  
 軍法會議定員表其ノ二備考第三號中「支那方面艦隊」ノ下ニ、「南東方面艦隊」ヲ加フ

0613



特修兵配置表其ノ四海軍通信隊ノ部中馬公ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、四二九頁参照)

内令第六百十三號

當分ノ間高雄海軍警備隊ニハ定員ヲ置カズ

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第六百十四號

昭和十七年内令第四十二號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍特別根據地隊職員表其ノ十二ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

内令  
掲載

0615

内令提  
登載

參照 昭和十七年内令第四十二號ハ海軍特別根據地隊職員表ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、四五六ノ一四ノ五頁）

内令第六百十五號

昭和十三年内令第五百二十號及昭和十四年内令第四百五十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

各別表海軍建築部ノ部中「馬公」ヲ「高雄」ニ改ム

參照 昭和十三年内令第五百二十號及昭和十四年内令第四百五十五號ハ造船、造機、造兵又ハ土木建築事務ニ從事ノ臨時職員配屬ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、四七七頁及四八〇頁）

内令提  
登載

内令第六百十六號

昭和十五年内令第八百八十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「支那事變中防備衛所」ヲ「大東亞戰爭中防備衛所（定員アルモノヲ除ク）」ニ改メ「防備隊」ノ下

内令

五八三

0616



ニ「又ハ馬公方面特別根據地隊」ヲ加フ

參照 昭和十五年内令第八百八十六號ハ支那事變中防備衛所及特設防備衛所ニ配員スベキ人員ノ件ナリ（内令提要卷一、四五六ノ一四ノ五八頁）

内令第六百十七號

大正九年内令第二百七十三號、同年内令第二百九十號及昭和十六年内令第千二百五十七號中防備隊ニ關スル規定ハ特設防備隊及海軍特別根據地隊ニ之ヲ準用ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大正九年内令第二百七十三號ハ敷設艇乗員標準等ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、四五六ノ一五頁）

大正九年内令第二百九十號ハ防備隊所屬特務艇及曳船ノ乗員標準ニ依ル人員ヲ防備隊ニ臨時増置ノ件ナリ（内令提要卷一、四五七頁）

參照

昭和十六年内令第千二百五十七號ハ特務艇、特設特務艇ノ艇長ハ兵科特務士官ヲ以テ充テ得ルノ件ナリ（内令提要卷一、四五七頁）

内令第六百十八號

海軍定員令申左ノ通改正セラル

内令提要  
要登載

内令提要  
要登載

0617

内令提  
要登載

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

- 一等驅逐艦定員表其ノ二中「白雪、」ヲ削ル
- 一等驅逐艦定員表其ノ三中「村雨、」、「朝潮、大潮、」及「荒潮」ヲ削ル
- 同表備考第二號中「朝潮型」ヲ「滿潮」ニ改ム
- 一等驅逐艦定員表其ノ四中「峯雲、」ヲ削ル
- 一等驅逐艦定員表其ノ五中「時津風、」ヲ削ル
- 一等潜水艦定員表其ノ一中「第一、」ヲ削ル
- 一等潜水艦定員表其ノ四中「第十八、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ四〇頁參照)

内令第六百十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

五八五

0618

内令提  
要登載

内令

五八六

特修兵配置表其ノ十四中「白雪、」、「村雨、」、「朝潮、大潮、」、「荒潮、」、「峯雲、」及「時津風、」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十六中「第一、」及「第十八、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四五三頁参照)

内令第六百二十號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空隊定員表其ノ二ノ三中「第二十七表ノ二ノ三」ヲ「第二十七表ノ二ノ五」ニ、「其ノ二ノ三」ヲ「其ノ二ノ五」ニ改ム

海軍航空隊定員表其ノ二ノ四中「第二十七表ノ二ノ四」ヲ「第二十七表ノ二ノ六」ニ、「其ノ二ノ四」ヲ「其ノ二ノ六」ニ改ム

海軍航空隊定員表其ノ十三ノ二中「別表第二十七表ノ十三ノ二」ヲ「第二十七表ノ十三ノ四」ニ、

0619

内令提  
要登載

「其ノ十三ノ二」ヲ「其ノ十三ノ四」ニ改ム

海軍航空隊定員表其ノ二ノ三、海軍航空隊定員表其ノ二ノ四、海軍航空隊定員表其ノ三ノ四、海軍航空隊定員表其ノ十三ノ二、海軍航空隊定員表其ノ十三ノ三及海軍航空隊定員表其ノ十五ノ二ヲ各別表ノ如ク定ム

(別表六葉添)

(内令提要卷一、二八四ノ四頁参照)

内令第六百二十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ三ノ三中天津ノ項ノ次ニ出水、高雄ノ項ノ次ニ臺南、三重ノ項ノ次ニ鹿兒島、鹿屋ノ項ノ次ニ厚木、豊橋、宿毛及新竹ノ項ノ次ニ黄流ノ各項ヲ夫々左ノ如ク加フ

内令

五八七

0620

教員配置表其ノ二海軍航空隊ノ部中大津ノ項ノ次ニ出水、高雄ノ項ノ次ニ臺南、三重ノ項ノ次ニ鹿  
兒島及新竹ノ項ノ次ニ黃流ノ各項ヲ夫々左ノ如ク加フ

黄 流	宿 毛	豐 橋	厚 木	鹿 兒 島	臺 南	出 水
一/二	一/二	一/二	一/二	三/三	一/二	一/二
一/二	一/二	一/二	一/二	三/三	一/二	一/二
〇/三	一/三	二/三	一/二	五/九	一/二	〇/三
四/六	三/五	三/六	二/六	四/七	四/六	四/六
六/三	三/四	四/六	四/六	四/八	六/三	六/三
五/八	三/五	六/七	四/五	五/三	四/三	五/八
一/一	六/二	〇/九	四/九	三/一	八/六	一/一
一/〇	〇	四/九	〇	六/一	四/九	一/〇
一/二	一/二	二/三	二/三	一/二	二/三	一/二
〇	〇	二	二	〇	二	〇
〇/三	三/六	三/三	四/一	三/二	三/七	〇/三
一/二	一/二	一/二	一/二	二/二	一/二	一/二
二/三	一/一	一/二	一/二	二/六	一/二	二/三
一/二	二/三	一/三	二/三	二/六	二/三	一/二
二/四	一/三	一/四	一/四	六/六	二/四	二/四
一/二	一/一	一/二	一/二	二/二	二/三	一/二
二/三	一/二	一/二	一/二	二/二	二/三	二/三
二/三	一/三	二/三	二/三	二/二	三/四	二/三
二/三	三/五	四/六	四/六	三/三	五/八	二/三
二/三	二/三	三/四	三/四	二/二	三/四	二/三
一/二	一/一	一/二	一/二	一/一	一/二	一/二
九/四	四/六	五/八	五/八	〇/五	六/〇	九/四
四/六	二/四	三/六	三/六	六/三	四/八	四/六
二/六	一/四	二/七	二/五	四/四	三/六	二/六
三	四	四	四	〇	三	三

内令  
要登載

(内令提要卷一、四三四頁参照)

内令第六百二十二號

昭和十五年内令第八百八號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空隊特別定員表其ノ一中通信長兼分隊長「中少佐」ヲ「少佐、大尉」ニ、霞ヶ浦ノ欄書記「二」ヲ「三」ニ、判任文官「十人」ヲ「十一人」ニ、鹿島ノ欄飛行隊長「三」ヲ「二」ニ、分隊長少佐、大尉「十一」ヲ「九」ニ、隊附兵科尉官「二十二」ヲ「八」ニ、教官中少佐「兼務六」ヲ「兼務二」ニ、教官少佐、大尉「兼務九」ヲ「兼務八」ニ、教官兵科尉官「兼務二十二」ヲ「兼務八」ニ、教官中少尉(整)「兼務十一」ヲ「兼務七」ニ、隊附中少尉(水)「二」ヲ「一」ニ、隊附中少尉(整)「十一」ヲ「七」ニ、兵曹長「三」ヲ「二」ニ、飛行兵曹長「十五」ヲ「九」ニ、整備兵曹長「十四」ヲ「九」ニ、兵曹「二十七」ヲ「十六」ニ、飛行兵曹「四十二」ヲ「六十四」ニ、整備兵曹「百十一」ヲ「百四」ニ、工作兵曹「二十三」ヲ「十九」ニ、水兵「六十二」ヲ「四十四」ニ、

内令

五八九

0622

整備兵「五百五十七」ヲ「五百五十五」ニ、工作兵「三十二」ヲ「三十五」ニ、衛生兵「十二」ヲ「九」ニ、主計兵「三十九」ヲ「四十二」ニ、士官「八十九人」ヲ「五十三人」ニ、特務士官「四十四人」ヲ「三十五人」ニ、准士官「三十八人」ヲ「二十五人」ニ、兵「七百五十三人」ヲ「七百二十七人」ニ改メ教官技師「兼務二」、衛生兵曹長「一」及高等文官「兼務二人」ヲ削ル

同表備考第一號中「八五人、」ヲ「及」ニ、「八三人、」ヲ「及」ニ、同第二號中「八十九人、」ヲ「及」ニ、「鹿島海軍航空隊ハ三人、」ヲ「鹿島海軍航空隊及」ニ、同第三號中「六十人、」ヲ「及」ニ、「整備長、軍醫長、」ヲ「軍醫長、」ニ改メ同第四號ヲ削リ第五號ヲ第四號トシ以下第十一號迄順次繰上ゲ同第四號中「鹿島海軍航空隊定員中兼務教官タル技師二人ノ中一人ハ霞ヶ浦海軍航空隊附ノ、一人ハ横須賀海軍航空隊附ノ」ヲ削リ同第八號中「一人、北浦海軍航空隊ハ之ヲ除ク」ヲ「及北浦海軍航空隊ヲ除ク」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ四中隊附主計中少尉(主)ノ項ノ次ニ「隊附技師」一「」ヲ、特務士官ノ項ノ次ニ「高等文官」一人「」ヲ加へ、宇佐ノ欄教官少佐、大尉「兼務十」ヲ「兼務十二」ニ、士官「九十五人」ヲ「九十七人」ニ改ム  
内兼務四十三人 内兼務四十五人

同表備考第七號中「三人」ヲ「一人」ニ改ム

0623

海軍航空隊特別定員表其ノ五中大村ノ欄教官中少佐「兼務一」ヲ「兼務二」ニ、教官少佐、大尉「兼務十」ヲ「兼務十一」ニ、教官兵科尉官「兼務十三」ヲ「兼務十五」ニ、士官「六十九人」ヲ「七十三人」ニ、徳島ノ欄教官少佐、大尉「兼務五」ヲ「兼務六」ニ改メ書記「一」ヲ加ヘ士官内兼務三十三人

「四十二人」ヲ「四十三人」ニ、判任文官「三人」ヲ「四人」ニ改ム  
内兼務十七人 内兼務十八人

海軍航空隊特別定員表其ノ六中書記「一」ヲ「二」ニ、博多ノ欄整備兵曹「百二十九」ヲ「百三十五」ニ、下士官「三百二十二」ヲ「三百二十八」ニ、小松島ノ欄分隊長少佐、大尉「十」ヲ「九」ニ、隊附兵科尉官「十」ヲ「八」ニ、教官少佐、大尉「兼務九」ヲ「兼務八」ニ、教官兵科尉官「兼務十」ヲ「兼務八」ニ、教官中少尉（飛）「兼務十一」ヲ「兼務八」ニ、教官中少尉（整）「兼務六」ヲ「兼務五」ニ、隊附中少尉（飛）「十一」ヲ「八」ニ、隊附中少尉（整）「六」ヲ「五」ニ、主計兵曹長「二」ヲ「三」ニ、飛行兵曹「五十一」ヲ「六十四」ニ、整備兵曹「七十一」ヲ「七十九」ニ、衛生兵曹「三」ヲ「四」ニ、主計兵曹「八」ヲ「九」ニ、整備兵「三百七十四」ヲ「四百十七」ニ、衛生兵「五」ヲ「七」ニ、主計兵「二十一」ヲ「三十二」ニ、士官「五十九人」ヲ「五十三人」ニ、特務士官「四十一人」ヲ「三十三人」ニ、准士官「三十三人」ヲ「二十四人」ニ、下士官「百八十人」ヲ「二百三人」ニ、判任文官「二人」ヲ「三人」ニ、兵「五百八人」

内令

五九一

0624



ヲ「五百六十四人」ニ改ム

同表備考第一號中「五人」ヲ「四人」ニ、同第二號中「八人」ヲ「五人」ニ、「三人」ヲ「三人」

ニ、同第三號中「十四人」ヲ「十三人」ニ、「九人」ヲ「七人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ八中「技手」四「書記」二ニ、判任文官「四人」ヲ「六人」

ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ九中隊附ノ下「中佐」一「二」ヲ削リ鈴鹿ノ欄教官中佐「兼務三」ヲ

「兼務二」ニ、士官「百三十八人」ヲ「百三十六人」ニ、大井ノ欄分隊長少佐、大尉「十五」ヲ「十

七」ニ、隊附兵科尉官「二十四」ヲ「三十」ニ、教官兼分隊長少佐、大尉「十四」ヲ「十六」ニ、

教官中佐「兼務三」ヲ「兼務二」ニ、教官少佐、大尉「兼務十三」ヲ「兼務十五」ニ、教官兵科尉

官「兼務二十四」ヲ「兼務三十」ニ、飛行兵曹「二百十三」ヲ「二百四十」ニ、整備兵曹「百三十

七」ヲ「百七十」ニ、整備兵「五百五十三」ヲ「六百九十五」ニ、衛生兵「十六」ヲ「十八」ニ、

主計兵「七十六」ヲ「八十」ニ、士官「百二十人」ヲ「百三十六人」ニ、下士官「五百人」ヲ

「五百六十人」ニ、兵「八百十一人」ヲ「九百五十九人」ニ改メ同表備考第一號中「大井海軍航空

隊ハ九人」及「大井海軍航空隊ハ三人」ヲ、同第二號中「大井海軍航空隊ハ十八人」ヲ、同

第三號中「(大井海軍航空隊ハ十三人)」ヲ削ル

海軍航空隊特別定員表其ノ十中書記「二二」ヲ「三三」ニ、判任文官「五人 七人」ヲ

「六人 八人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ十一中土浦ノ欄分隊長少佐、大尉「六」ヲ「五」ニ、隊附兵科尉官「三」ヲ「二」ニ、教官少佐、大尉「九内兼務六」ヲ「八内兼務五」ニ、教官兵科尉官「十内兼務三」ヲ「九内兼務二」ニ、教官海軍教授「九十一」ヲ「九十五」ニ、教官中少尉(飛)「兼務五」ヲ「兼務三」ニ、中少尉(整)「兼務十三」ヲ「兼務十二」ニ、隊附中少尉(飛)「五」ヲ「三」ニ、中少尉(整)「十三」ヲ「十二」ニ、隊附技師「四」ヲ「八」ニ、飛行兵曹長「七」ヲ「五」ニ、整備兵曹長「十四」ヲ「十」ニ、飛行兵曹「十七」ヲ「十一」ニ、整備兵曹「百五十五」ヲ「百三十四」ニ、書記「二」ヲ「四」ニ、助教「十八」ヲ「二十」ニ、技手「四」ヲ「八」ニハ整備兵「三百三十二」ヲ「二百九十五」ニ、士官「九十五人」ヲ「九十一人」ニ、特務士官「百五人」ヲ「百一人」ニ、高等文官「九十五人」ヲ「百三人」ニ、准士官「五十一人」ヲ「四十五人」ニ、下士官「六百七十人」ヲ「六百四十三人」ニ、判任文官「二十四人」ヲ「三十二人」ニ、兵「九百一人」ヲ「八百六十四人」ニ、三重ノ欄教官海軍教授「三十一」ヲ「九十五」ニ、書記「二」ヲ「四」ニ、技手「四」ヲ「五」ニ、

内令

五九三

0626

高等文官「三十四人」ヲ「九十八人」ニ、判任文官「二十六人」ヲ「二十九人」ニ改ム  
内兼務一人 同表備考第一號及第二號中「二人」(三重海軍航空隊ハ一人)ヲ「一人」ニ改メ同第九號ノ次ニ左ノ  
 二號ヲ加フ

十 海軍教授二十人ハ必要ニ應ジ士官ヲ以テ充ツルコトヲ得

十一 三重海軍航空隊定員中隊附兼務技師ハ土浦海軍航空隊附ノ兼務トス

海軍航空隊特別定員表其ノ十二中教官海軍教授「四」ヲ「八」ニ、教官技師「兼務一」ヲ「兼務二」  
 ニ、隊附技師「一」ヲ「二」ニ、助教「九」ヲ「四」ニ、技手「五」ヲ「七」ニ、高等文官「六人  
内兼務二人」ヲ「十二人」ニ、判任文官「二十人」ヲ「十七人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ十三中教官少佐、大尉「兼務十」ヲ「兼務十三」ニ、教官海軍教授「五」

ヲ「十五」ニ、工作兵曹「二十」ヲ「十九」ニ、書記「一」ヲ「三」ニ、助教「一」ヲ「五」ニ、

工作兵「三十一」ヲ「三十」ニ、士官「九十九人」ヲ「百二人」ニ、高等文官「五人」ヲ「十

六人」ニ、下士官「二百四十五人」ヲ「二百四十一人」ニ、判任文官「五人」ヲ「十一人」ニ、兵

「七百七十人」ヲ「七百六十九人」ニ改メ隊附主計中少尉(主)ノ項次ニ「隊附技師」一ヲ加フ

同表備考第三號中「十一人」ヲ削リ同第九號ヲ第十號トシ第八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

0627

九 海軍教授十人ハ必要ニ應ジ士官ヲ以テ充ツルコトヲ得

海軍航空隊特別定員表共ノ十五中吳ノ欄中分隊長少佐、大尉「五」ヲ「六」ニ、飛行兵曹「二十七」ヲ「三十三」ニ、士官「二十三人」ヲ「二十四人」ニ、下士官「百十三人」ヲ「百十九人」ニ改ム

同表備考第一號中「二人（佐伯海軍航空隊ハ三人）」ヲ「三人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表共ノ十六中佐世保ノ欄工作兵曹「十五」ヲ「十六」ニ、工作兵「二十四」ヲ

「二十五」ニ、下士官「百七十人」ヲ「百七十一人」ニ、兵「四百十八人」ヲ「四百十九人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表共ノ二十中第二五ノ欄飛行隊長中少佐「二」ヲ「三」ニ、分隊長少佐、大

尉「十二」ヲ「十三」ニ、隊附兵科尉官「二十三」ヲ「二十八」ニ、隊附中少尉（飛）「十四」ヲ

「二十三」ニ、中少尉（整）「八」ヲ「十」ニ、飛行兵曹長「十七」ヲ「二十七」ニ、整備兵曹長「十

七」ヲ「十八」ニ、飛行兵曹「四十九」ヲ「七十五」ニ、整備兵曹「百六」ヲ「百三十三」ニ、整

備兵「四百二十二」ヲ「五百八十四」ニ、主計兵「三十一」ヲ「三十五」ニ、士官「四十八人」ヲ

「五十五人」ニ、特務士官「二十八人」ヲ「三十九人」ニ、准士官「四十一人」ヲ「五十二人」ニ、

下士官「二百三十三人」ヲ「二百八十六人」ニ、兵「五百八十六人」ヲ「七百五十二人」ニ改ム

同表備考第一號中「六人」ヲ「七人」ニ、同第二號中「二十一人」ヲ「三十五人」ニ、「二人」ヲ

内令

五九五

0628

「三大(第二五三海軍航空隊ハ二人)」ニ、同第四號中「五人」ヲ「六人(第二五三海軍航空隊ハ五人)」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ三ノ二、海軍航空隊特別定員表其ノ七ノ二、海軍航空隊特別定員表其ノ八ノ二、海軍航空隊特別定員表其ノ十一ノ二、海軍航空隊特別定員表其ノ十八ノ二及海軍航空隊特別定員表其ノ十八ノ三ヲ各別表ノ如ク定ム

海軍航空隊特別修兵配置表中鹿島、小松島、大井、土浦、吳、第二五一及第二五三ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改メ大津ノ項ノ次ニ出水、高雄ノ項ノ次ニ臺南、新竹ノ項ノ次ニ黄流、三重ノ項ノ次ニ鹿兒島、鹿屋ノ項ノ次ニ宿毛、厚木、豊橋ノ各項ヲ夫々左ノ如ク加フ

第二五一	吳	土浦	大井	小松島	鹿島
一/二	一/二	七/三	一/三	一/二	一/二
一/二	一/三	〇/二	一/三	一/三	一/二
一/二	二/四	四/七	三/四	二/四	二/三
四/七	二/六	四/五	八/九	二/六	三/五
六/八	三/四	二/七	六/八	三/四	四/八
亮/三	三/〇	九/二	〇/五	美/八	美/八
三/四	三/四	三/二	八/二	六/三	一/二
〇	〇	〇/一	三/二	〇	〇
二/三	一/一	三/二	八/四	一/二	一/二
二	〇	二	四	〇	〇
四/六	三/四	九/三	二/三	六/二	八/六
一/一	一/二	二/〇	二/三	一/二	〇/二
一/二	〇/二	三/七	一/三	〇/三	一/二
一/四	一/四	三/七	三/四	一/四	二/四
二/四	一/三	七/〇	二/五	一/三	二/四
一/二	二/二	二/二	二/四	一/二	一/二
一/二	二/三	二/二	三/五	二/二	二/三
二/三	二/三	二/三	三/三	二/三	二/三
六/八	二/三	三/四	三/五	三/四	二/三
三/四	一/二	三/五	二/三	一/二	一/二
一/一	一/一	一/二	一/二	一/一	一/二
七/〇	三/七	二/三	七/二	三/七	八/三
三/七	二/五	七/二	八/二	三/七	四/六
二/七	二/四	五/四	四/五	二/五	二/六
四	〇	〇	一	一	〇

内令

海軍航空隊特別教員配置表中鹿島、小松島、鈴鹿、大井及土浦ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改メ大津ノ項

同表備考第二號中

博	多	6
---	---	---

ヲ

博	多	12
---	---	----

ニ、

第二〇一	3
------	---

第二五一	3
------	---

ヲ

厚	木	3
---	---	---

豊	橋	52
---	---	----

第二〇一	2
------	---

第二五一	2
------	---

ニ改ム

黄流	豊橋	厚木	宿毛	鹿兒島	臺南	出水	第二五三
二/三	一/二	一/二	一/〇	五/八	一/二	一/二	一/二
一/二	一/二	一/二	一/一	〇/二	一/二	一/二	一/二
〇/一	二/三	一/二	一/三	五/六	一/二	〇/二	一/二
二/四	三/六	三/六	三/五	三〇/三	四/六	三/五	四/七
六/八	四/六	四/六	三/四	五/七	六/二	二/六	六/八
六/四	九/九	三/五	三/五	九/二	四/〇	六/四	七/四
一/一	七/五	四/九	六/二	八/二	〇/〇	一/二	七/三
〇	四/九	〇	〇	五/一	一/一	〇	〇
一/一	二/三	二/三	一/二	二/二	一/二	一/二	二/三
〇	二	一	〇	二	〇	〇	一
四/八	六/七	四/八	四/九	四/三	六/二	四/八	五/〇
〇/二	一/二	一/二	〇/一	二/三	一/二	〇/二	一/一
〇/二	一/二	一/二	〇/一	三/四	一/二	〇/二	一/一
二/四	一/三	二/三	一/二	二/五	二/三	一/二	一/四
二/五	一/四	一/四	一/二	四/七	二/四	一/三	二/四
一/一	一/二	一/二	一/一	二/二	一/二	一/三	一/二
一/一	一/二	一/二	一/一	二/三	一/二	二/三	一/二
一/二	二/三	二/三	一/二	二/三	二/三	二/三	二/三
二/四	四/六	四/六	三/五	三/三	五/八	二/三	六/八
二/三	三/四	三/四	二/三	二/三	三/四	一/二	三/四
一/一	一/二	一/二	〇	一/一	一/一	一/二	一/一
五/八	三/八	五/八	四/六	七/五	六/〇	八/三	七/〇
三/四	三/六	三/六	二/三	五/〇	四/八	二/四	三/七
一/四	二/七	二/五	一/四	四/二	三/六	二/四	二/七
一	四	四	四	〇	三	〇	四

五九七

0630

内令

五九八

ノ次ニ出水、高雄ノ項ノ次ニ臺南、新竹ノ項ノ次ニ黃流、三重ノ項ノ次ニ鹿兒島ノ各項ヲ夫々左ノ如ク加フ

鹿兒島	一七五	一一	六六	九	五
黃流	三	三三	一一		
臺南	七	四四	三〇		二
出水	三	三三	一一		
土浦	三九二	一一	一一三	一三	六
大井	七六	二四〇	五〇		
鈴鹿	七六	二四〇	五〇		
小松島	六	六四	二四		二
鹿島	五	六四	二〇		

(別表六葉添)

参照 昭和十五年内令第八百八號ハ海軍航空隊特別定員等ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、四五六ノ八ノ九頁)

0631

海軍警備隊定員表 其ノ二

(昭和十八年内令第六百一十一號)

考 備	計		隊 附		隊 附		分 隊	分 隊	分 隊	分 隊	副 長	司 令	高 雄					
	特 務	士 官	中 尉	中 尉	少 尉	少 尉	主 計 長 兼 主 計 少 佐、主 計 大 尉	軍 醫 長 兼 軍 醫 少 佐、軍 醫 大 尉	兵 科 佐 官、大 尉	機 關 長 兼 中 少 佐	中 佐	大 佐		高 雄				
	二 人	内 兼 務 二 人 十一人	一	一	二	二	一	一	兼 務 二	一	一	一			高 雄			
兵	下 士 官	准 士 官	主 計 兵	衛 生 兵	工 作 兵	機 關 兵	水 兵	主 計 兵 曹	衛 生 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹 長	高 雄					
百八十六人	八十八人	九人	十一	三	三	二十六	百四十三	七	一	二	十	六十八		二		一	一	一



(別表)

海軍特別根據地隊職員表 共ノ十二

(昭和十八年内令第六百十四號)

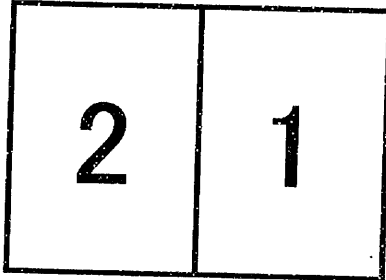
考 備	計 特務士官 士官	隊 附 衛生中少尉 中少尉(機) 中少尉(水)	隊 附 主計科尉官 軍醫科尉官 少佐、大尉	分主計隊長兼 主計科尉官	分軍醫隊長兼 軍醫科佐尉官	分隊長兼 少佐、大尉	分機隊長兼 中少佐	參謀 中少佐	副長 大中佐	司令官 中少將	馬 公 馬 公	兵 下士 官 二百十人	准 士 官 九十八人	主計兵 十三	衛生兵 六	工兵 三	機兵 二十六	水兵 百六十二	主計兵 七	衛生兵 二	工兵 二	機兵 十	兵 曹 七十七	主計兵 長 二	工作兵 曹 長 一	機兵 曹 長 二	兵 曹 長 六	備	一 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得		二 特修兵		掌砲兵 (高) 一〇五		掌測的兵 (高) 二一		掌水雷兵 (高) 三〇		掌機雷兵 (高) 三		掌帆兵 (高) 七三		掌信號兵 (高) 九二		掌電信兵 (高) 一七六		掌暗號兵 (高) 四		掌機兵 (高) 三		掌內火兵 (高) 三一		掌電機兵 (高) 四一		掌工兵(木具) (高) 四一		掌經理兵 (高) 二		三 本表ノ外防備衛所ニ配スル爲防備隊定員表其ノ二備考第二號及同第三號ノ規定ニ依ル乙		防備衛所一箇所ノ人員(掌測的兵 (高) 二 掌機雷兵 (高) 二 特修兵 教員配置規則別表特		修兵配置表其ノ三備考第三號ノ規定ヲ準用ス)ヲ増加ス							
																													兵	准	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵
																													兵	准	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵
																													兵	准	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵

0633





## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	海軍航空隊定員表 その3の4
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



考	備	計			隊	隊										教																			
		高等	特務	士		附	技	師	主計	衛生	工	機	整	水	技	助	書	主計	衛生	工	機	整	飛行	兵	主計	衛生	工	機	整	飛行	兵	主計	衛生	工	機
九 本表中兵科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ必要ニ應ジ各共ノ定員ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得	<p>一 兵科分隊長ノ中四人ハ飛行部指揮官、一人ハ内務科長、二人ハ整備部指揮官、一人ハ工業部指揮官、一人ハ補機部指揮官ニ充ツ</p> <p>二 隊附兵科尉官ノ中五人ハ飛行部附、二人ハ整備部附ニ充ツ</p> <p>三 飛行長、飛行隊長、通信長、整備長、兵科分隊長、隊附兵科尉官、軍醫長並ニ隊附タル中少尉(水)二十八人、中少尉(飛)、(整)、(機)及(工)ハ教官ヲ兼務ス</p> <p>四 兵曹長三十四人、飛行兵曹長及整備兵曹長ハ教員ニ充ツ</p> <p>五 兵科分隊長ノ中一人ハ大尉(水)又ハ(飛)ヲ以テ、一人ハ大尉(整)、(機)又ハ(工)ヲ以テ補スルコトヲ得</p> <p>六 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ</p> <p>七 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ掌整備長、二人ハ搭載兵器ノ整備ニ従事スルモノニ充ツ</p> <p>八 主計中少尉(主)及主計兵曹長ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ</p>	五十二人	九十五人 内兼務四十六人	百二十八人 内兼務三十三人	二	主計中少尉(主)	衛生中少尉	工中少尉(機)	機中少尉(整)	整中少尉(飛)	水中少尉(水)	技中少尉(機)	助中少尉(整)	書中少尉(飛)	主計中少尉	衛生中少尉	工中少尉(機)	機中少尉(整)	整中少尉(飛)	飛行中少尉	兵中少尉(水)	主計中少尉	衛生中少尉	工中少尉(機)	機中少尉(整)	整中少尉(飛)	飛行中少尉	兵中少尉(水)	主計中少尉	衛生中少尉	工中少尉(機)	機中少尉(整)	整中少尉(飛)	飛行中少尉	兵中少尉(水)
		兵	判任	下士	准士	主計	衛生	工	機	整	水	技	助	書	主計	衛生	工	機	整	飛行	兵	主計	衛生	工	機	整	飛行	兵	主計	衛生	工	機	整	飛行	兵
		八百八十六人	二十九人	七百六十一人	六十四人	二百三十五	五十五	二十七	四百二	六十七	五	二十	四	二十	十五	二十二	二十一	百六十四	三十	四百八十九	三	一	二	一	十二										

海軍航空隊定員表 共ノ十三ノ二

考	備	計		隊										厚木		豊橋						
		特務士官	士官	主計科尉官	主計大尉	主計中少尉	軍醫科尉官	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	兵科尉官	少佐、大尉	中少佐	中少佐	飛行隊長	通信隊長兼分隊長	整備隊長	飛行隊長	副官	副隊長	司令	厚木	豊橋
一	兵科分隊長ノ中四人ハ飛行部指揮官、一人ハ内務科長、二人ハ整備部指揮官、一人ハ工業部指揮官、一人ハ補機部指揮官ニ充ツ	二十三人	六十九人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	隊附兵科尉官ノ中十五人(豊橋海軍航空隊ハ十四人)ハ飛行部附、三人ハ整備部附ニ充ツ	四十一人	四十人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ																					
四	中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、二人ハ掌整備長、四人(豊橋海軍航空隊ハ六人)ハ搭載諸兵器ノ整備ニ従事スルモノ、豊橋海軍航空隊ノ二人ハ搭載整備ニ従事スベキモノニ充ツ																					
五	主計中少尉(主)及主計兵曹長ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ																					
六	飛行科及内務科ノ分隊長タルベキ者ノ中一人ハ大尉(水)又ハ(飛)ヲ以テ、整備科ノ分隊長タルベキ者ノ中一人ハ大尉(整)、(機)又ハ(工)ヲ以テ補スルコトヲ得																					
七	本表中兵科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ必要ニ應ジ各其ノ定員ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得	四百二十人	七百五十人	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三





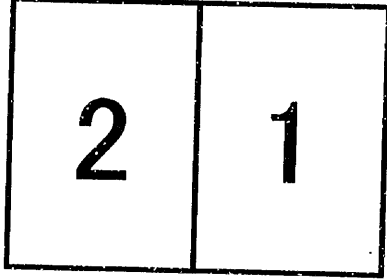








## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	海軍航空隊特別定員表 その1の2
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	











内令提  
案

内令第六百二十三號

昭和十七年内令第二千七號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設海軍航空隊定員表其ノ二、特設海軍航空隊定員表其ノ二ノ二及特設海軍航空隊定員表其ノ六ヲ各別表ノ如ク改ム

特設海軍航空隊特修兵配置表中第四五二、第五五二及第九〇二ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

第九〇二	第五五二	第四五二
-/-	-/-	〇/二
-/-	-/-	-/-
-/-	-/-	-/-
二/五	二/五	二/四
四/六	四/六	六/八
八/四	元/三	二/六
二/四	七/四	五/二
〇	〇	〇
-/-	二/三	-/-
〇	〇	〇
三/四	四/三	三/四
〇/二	〇/二	〇/二
〇/二	〇/二	-/-
二/三	二/三	-/-
二/四	二/四	-/-
-/〇	-/〇	〇/二
-/二	-/二	-/-
-/三	-/三	-/-
三/四	三/五	三/四
二/二	二/三	二/二
-/〇	-/〇	〇
二/四	三/六	三/六
二/四	二/四	-/二
二/四	二/四	-/二
六	四	四

同表備考第一號中

第二五二	3
ヲ	
第二五二	3
第五五二	2

ニ改ム

内令

五九九

0648

内令提  
要登載

内令

六〇〇

参照 昭和十七年内令第二千七號ハ當分ノ間特設海軍航空隊ノ定員表等ヲ定ムルノ件ナリ

(別表三葉添)

内令第六百二十四號

昭和十七年内令第二千九號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設航空基地隊定員表中副官少佐、大尉ノ項ノ次ニ「飛行長兼分隊長中少佐」一「」ヲ、兵

曹長ノ項ノ次ニ「飛行兵曹長」一「」ヲ、機關兵曹長ノ項ノ次ニ「工作兵曹長」一「」ヲ

加ヘ分隊長少佐、大尉ノ下「四」ヲ「三」ニ、兵曹長「一」ニ「二」ヲ「三」ニ、機關兵

曹長「二」ニ「三」ヲ「二」ニ、兵曹「三十二」「三十三」ヲ「二十八」「三十二」ニ、飛行兵曹

「三」「三」ヲ「四十一」「三」ニ、整備兵曹「二十二」「二十九」ヲ「四十三」「三十三」ニ、機關兵曹ノ下

0649

内令

掌帆兵	三/六	三/六	第一	第十四
掌測的兵	一/三	一/三	第一	第十四
掌砲兵	三/一	六/三	第一	第十四
掌整備兵	三/四	四/三	第一	第十四
掌經理兵	三/五	三/五	第一	第十四
掌航空兵器	三/一	三/一	第一	第十四
掌電機兵	三/三	三/六	第一	第十四
掌工兵	三/六	三/一	第一	第十四

「十六」ヲ「十三」ニ、工作兵曹「五」四「ヲ」六「六」ニ、衛生兵曹ノ下「五」ヲ「四」ニ、主計兵曹ノ下「九」ヲ「八」ニ、水兵ノ下「九十七」ヲ「七十五」ニ、整備兵「三百八」三百四十九「ヲ」三百六十二「二百九十五」ニ、機關兵ノ下「九十二」ヲ「八十五」ニ、工作兵「八」六「ヲ」七「七」ニ、衛生兵「五」五「ヲ」六「五」ニ、主計兵ノ下「二十八」ヲ「三十」ニ、准士官「九人八人」ヲ「十二人十人」ニ、下士官「九十二人八十九人」ヲ「百四十人九十五人」ニ、兵「五百三十八人五百四人」ヲ「五百六十四人五百五十一人」ニ改ム

同表備考第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 特修兵 (高)(特)(操)/(普)(偵)

0650







